宇治市教育委員会定例会会議録

日　時　　令和８年６月２６日（金）　午後６時３０分　開議

場　所　　宇治市役所　６０２会議室

会　議　日　程

日程第１　　会議録署名委員の指名について
日程第２　　報告
日程第３　　報告第９号　専決事項の報告について
日程第４　　議案第１６号　宇治市就学援助規則の一部を改正する規則を制定するについて

会議に付した事項　会議日程に同じ

出席者

教　育　長	木 上 晴 之
（教育委員）	
教育長職務代理者	加賀爪　毅
委　　員	中 筋 斉 子
委　　員	小 山 栄 子
委　　員	左　聡一郎

（出席職員職氏名）

教 育 部 長	秋 元　尚	教育部副部長	川 崎 吉 隆
教育総合推進センター長	武 田 義 博	教育総務課長	渡 邉 聖 介
博物館管理課長	家 塚 智 子	学校教育課長	安 留 岳 宣
教育支援課長	井 上 宜 久	学校教育課副課長	葛 山　雅
学校教育課総括指導主事	一 井 洋 史		

（書記職員職氏名）

教育総務課副課長	亀 井 明 美	教育総務課主任	小谷野里紗
教育総務課主事	久 保 孝 太		

開　　会　（午後６時３０分）

○**開会宣言**　教育長が６月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

○**日程第１**　会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第１３条第３項の規定により、左委員を指名する。

○**日程第２**　報告

（１）市公式ＬＩＮＥ友だち限定！公共施設お得利用キャンペーン
（２）令和９年度宇治市笠取小学校特認入学希望者の募集について
（３）宇治市小中一貫教育推進協議会について
（４）宇治市教育委員会後援事業について

以上４件を報告する。

（１）市公式ＬＩＮＥ友だち限定！公共施設お得利用キャンペーン

［説　明］

市公式ＬＩＮＥでは、現在、幅広い世代に向け、防災・気象情報の通知、ごみ収集日の案内、子育て情報の発信、カレンダー予約機能や道路・公園遊具等の損傷通報など、便利な機能を備えている。

この度、より多くの皆様に市公式ＬＩＮＥに登録いただき、日常的にご利用いただくきっかけとするため、「ＬＩＮＥ友だち限定 公共施設割引キャンペーン」を実施することとなり、源氏物語ミュージアムは、その対象施設のひとつである。

源氏物語ミュージアムは、大人６００円のところ４８０円、小人３００円のところ２４０円になる。クーポンの利用期間は、夏季７月１日から８月３１日、冬季１２月１日から２月２８日を予定している。利用手順は、まず市公式ＬＩＮＥに友達登録を行い、画面で進めていくとクーポンが表示される。

［質　疑］

［委　員］　割引率が施設によって異なるのは、何か理由があるのか。

［事務局］　各施設の割引の設定によるもの。源氏物語ミュージアムの団体割引は２割引きの４８０円。茶づなは源氏物語ミュージアムにあわせたと聞いている。

（２）令和９年度宇治市笠取小学校特認入学希望者の募集について

［説　明］

令和９年度の募集人員は新１年生に限り、４名を予定している。募集期間は令和８年１０月１５日（木）から１１月２０日（金）まで、募集開始の初日１０月１５日には

笠取小学校において、説明会を兼ねて授業参観や学校見学を行う予定としている。応募者多数の場合には１２月１日（火）に抽選を行う予定。募集に当たり、８月１５日号の市政だよりに募集記事を掲載予定である。

令和８年５月１日現在の児童数地元児童１名、特認児童１５名の合計１６名で、うち今年度末に特認児童３名が卒業する見込みとなっている。５月１日現在の地元児童の推計は、令和９年度は地元児童１名が入学予定で、今年度の特認制度の募集により特認児童が４名入学すると、令和９年４月の笠取小学校の新１年生は、地元児童１名、特認児童４名の計５名、全児童数は、地元児童２名と特認児童１６名の合計１８名となる見込みである。

［質　疑］

［委　員］　支援級相当の子が入学を希望した場合、笠取小学校に支援級を開設することになるのか。

［事務局］　現在のところ、笠取小学校に特認児童のための支援級を開設することは困難であると考えており、受入れは想定していない。見学会や面談等の中で、笠取小学校がどういう小学校であるか、どういう事情であるかをしっかりと説明し、御理解頂くよう努める。

（３）宇治市小中一貫教育推進協議会について

［説　明］

６月３日（水）に開催した「第１回宇治市小中一貫教育推進協議会」では、協議会開催前に各委員への委嘱状の交付を行い、その後、設置要項に基づき、会長・副会長を選出した。会長に榊原禎宏委員に、副会長に蔀正永委員にご就任いただいた。今年度は、昨年度から引き続きの方に加え、新たに、宇治市連合育友会会長の熊谷幸代委員、中学校長会長の山田裕一委員にお願いした。

報告及び協議事項としては、令和７年度の活動概要の報告に加え、昨年度作成した「宇治市の小中一貫教育　今後の展望」を確認した。令和８年度の活動については、小中一貫教育の取組全般の進行管理を目的として、年３回の協議会並びに４月に開校した宇治西小倉学園の視察を含む、中学校ブロックの特色ある取組についての視察を行うこと、また、今後の小中一貫教育について、児童生徒や保護者にアンケートを実施する予定であることを示した。家庭や地域への効果的な情報発信も含めたものとなるようなアンケートを検討したいと考えている。

８月には、専門部会にてワーキング・グループを設定し、１０月頃に開催予定の第２回推進協議会にて、「小中一貫教育アンケート」について検討していく予定である。

［質　疑］

［委　員］　文科省の先取り教育と小中一貫教育推進の関わりはないのか。広野中学校

の取組が雑誌に取り上げられるなど注目されているという話を聞くので、何か教えてもらえることはあるか。

［事務局］　「小中一貫教育今後の展望」の中で、授業改善の一環として「「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進」を挙げている。先取り教育の研究校は、学んだことを生かして探究的な学びを深める時間を新たに作り出し、そこで学習を深めるなど、学習者主体の活動に重きを置いて、探究的な学びの充実に努める研究を行っている。子どもたちの学びを作っていくという点で先取り教育の研究が「「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進」に大いに寄与する取組である。

学習指導要領においては、各教科に標準授業時数が決められており、それに沿って教育課程を組んでいるが、学校においてどこかの教科の授業時数を削減し、そこで生み出した余剰で、新たに探究的な学びの時間を教育課程に盛り込むなど、各校の目指す児童生徒像や各校の狙いを実現するために、学校が主体となって柔軟に教育課程を編成できるのが先取り教育である。

令和８年度からは、広野中に加えて槇島中と南宇治中の宇治市内３校で取り組んでいる。

（４）宇治市教育委員会後援事業について

［説　明］

令和８年８月８日に日本郵便株式会社山城地区連絡会が、お茶と宇治のまち歴史公園で開催するスマイルポストフェスタのほか９件、合計１０件の事業について、後援を承認した。

また、令和８年９月及び令和９年２月～３月に宇治市女性の会連絡協議会が、生涯学習センター他で開催する女性いきいき学校　第１講・第２講について、共催を承認した。

［質　疑］　　なし

○日程第３　報告第９号　専決事項の報告について

［説　明］

本件は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第４条第２項の規定により報告する。

宇治市学校運営協議会委員の任免及び任命について、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第４条第１項第４号の規定により、専決処分を行った。

学校運営協議会委員は、宇治市学校運営協議会設置規則第８条第２項の規定により、該当校の校長から推薦を受け、教育委員会が任命しているが、今回、４月１日付けで任

命した委員の死去に伴い、同規則第９条第２項の規定により、４月２日付けで解任した。
なお、現在、学校運営協議会の人数は合計２４４名である。

［質　疑］　　なし

○**日程第４**　議案第１６号　宇治市就学援助規則の一部を改正する規則を制定するについて

［説　明］

本規則は、就学援助を申し込みされる際に提出が必要な書類について規定しているが、「児童扶養手当の受給状況を確認するための書類」については、これまで「その他教育長が必要があると認める書類」に該当するものとして運用してきた。今般、この運用について、規則上明確に位置づけ、あわせて、字句整理を行うために所要の改正を行う。

［質疑・討論］　なし

［採　決］　　採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言**　教育長が６月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉　　会　（午後６時５０分）